



# HP BIOSはこう使おう！ HP Commercial Notebook PC 2015-2016モデル BIOS活用FAQ集

株式会社日本HP

サービス・ソリューション事業本部

技術本部 クライアント技術部

# はじめに

2015年後半以降で発売されたHP Commercial Notebook製品は、最新CPU、OSのサポート等のためにBIOSが再設計され、HP Commercial Desktop製品とほぼ共通のインターフェースアーキテクチャに生まれ変わりました。

この資料では、その新しいBIOSに関して以前の Notebook製品との相違点や、セキュリティ、運用性を考慮した設定、便利な設定例などを中心にFAQ形式で説明しています。

HP PC製品のBIOSをより効果的にご活用ください。

## 対象モデル:

HP EliteBook 725 G3 / 820 G3 / 840 G3

HP ProBook 430 G3 / 450 G3 / 455 G3 / 470 G3



# FAQ集 目次

Q:BIOSに入る操作、ブート選択の操作がわからない

Q:BIOSに入る際のビープ音を出さなくすることはできますか?

Q:BIOS管理者パスワードを設定したい

Q:BIOSで電源パスワードを設定したい

Q:BIOS設定変更内容をすべて元に戻すには?

Q:HDDパスワード(DriveLockパスワード)を設定したい

Q:HDDのデータをすべて消去したい

Q: Windows 7/8.1/10各環境をインストールする時のブート設定は?

Q:Wake-On-LAN(WOL)は有効になっていますか?

Q:有線LANが接続された際に無線LANを自動オフしたいのですが?

Q:内蔵OpticalDriveを無効にする設定がみあたりません

Q:BIOS設定で、USBデバイス利用を制御できますか?

Q:内蔵カメラや指紋リーダーを無効にしたい

Q:BIOSでタッチパッドは無効にできますか?

Q:変更したBIOS設定情報を複数のPCに展開できないでしょうか?

Q:BIOSをアップデートするには?

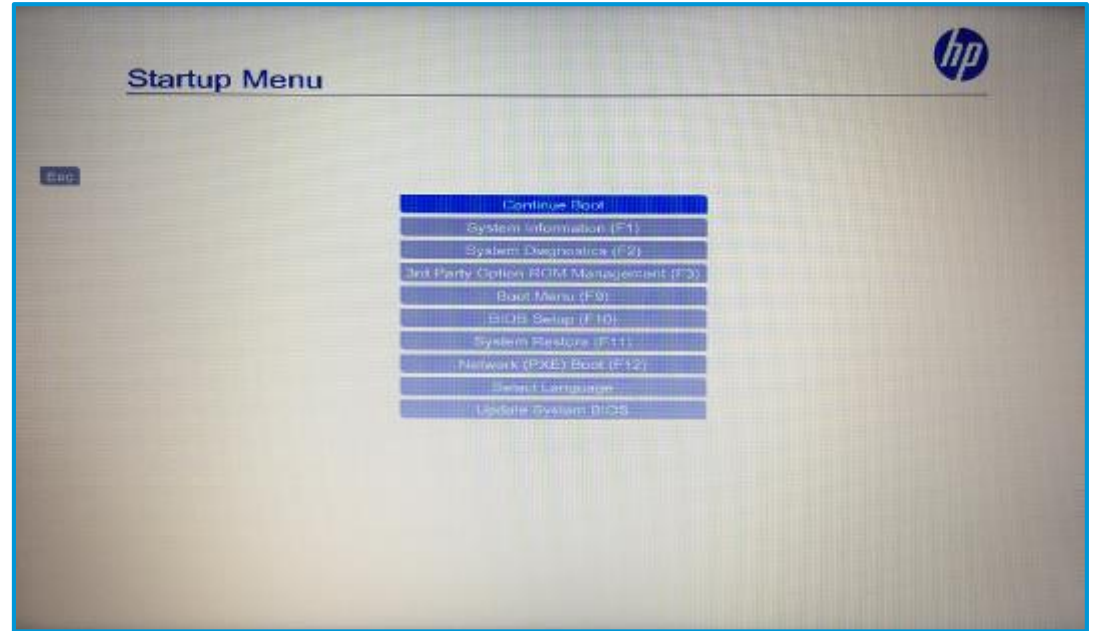


# Q:BIOSに入る操作、ブート選択の操作がわからない

A:

下記の手順になります。

1. PCの電源をオンし、HPのロゴが表示されたら Esc キーを長押しするか、連打します（3～4回/秒の間隔程度）。Startup Menu が表示され、各ファンクションキーによる操作選択ができます。
2. F10キーを押すと、BIOSに入ります。
3. F9キーを押すと、ブートメディア選択画面になります。
4. その他のファンクションキーで各操作に移行できます。



# Q:BIOSに入る際のビープ音を出さなくすることはできますか？

A:

BIOSで設定可能です。

Advanced → Boot Options の設定画面にて、

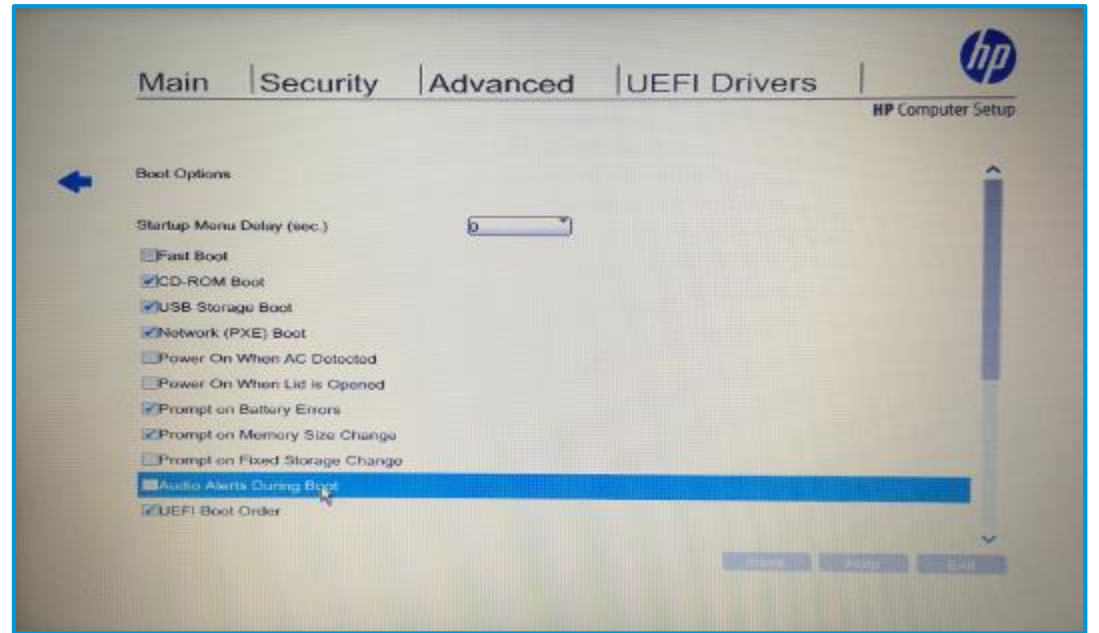
Audio Alerts During Boot

という項目のチェックを外します。これでBIOSを保存して終了します。

(チェックされている項目は有効、チェックされていない項目は無効という意味です。)

この設定により、BIOSに入る時や、電源パスワード、ドライブブロックのパスワード入力画面でのビープ音は無くなります。

※機種によっては、この設定の実施後も、BIOSに入る際のEscキーやF10キーのホールド時にのみビープ音が発生する場合があります。



# Q:BIOS管理者パスワードを設定したい

A:

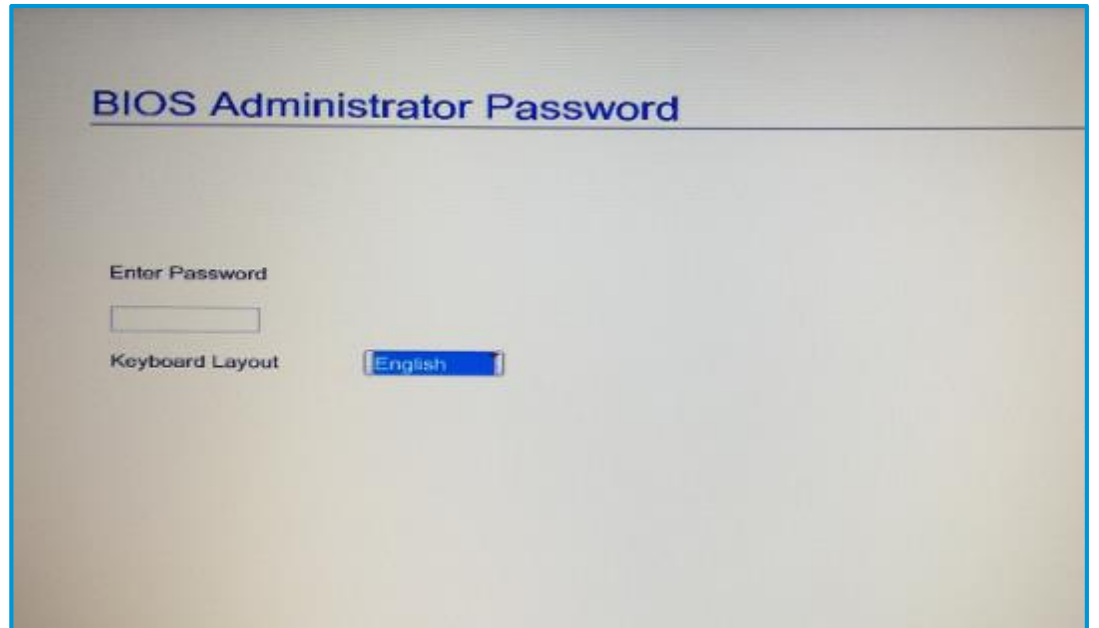
以下の手順になります。

1. BIOSに入り、[Security](#)メニューを表示します。
2. [Create BIOS Administrator Password](#) を選択します。
3. 設定したいパスワードを入力します。確認のために同じパスワードを再度入力します。
4. BIOSを保存して終了します。

これで、次回以降、BIOSに入る際に設定したパスワードを入力できずとBIOSに入れません。

パスワードを解除する場合は、上記設定作業にて、新しいパスワード入力の際に何も入力せずEnterを実行します。

※BIOS管理者パスワードは入力ミスや情報の紛失等に十分に注意してください。パスワード忘れの場合、解除する方法は無く、有償修理対応になります。



# Q:BIOSで電源パスワードを設定したい

A:

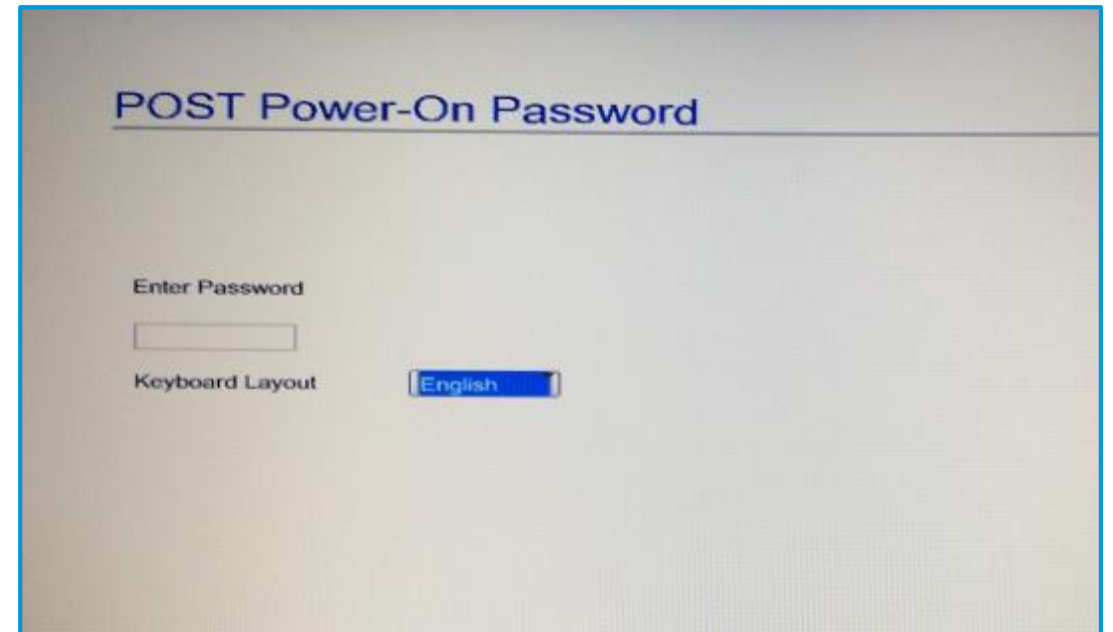
以下の手順になります。

1. BIOSに入り、[Security](#)メニューを表示します。
2. [Create POST Power-On Password](#) を選択します。
3. 設定したいパスワードを入力します。
4. 確認のために同じパスワードを再度入力します。
5. BIOSを保存して終了します。

これで、次回以降、電源オン後に電源パスワード入力画面となり、正しく入力しないとOS起動ができません。

パスワードを解除する場合は、上記設定作業にて、新しいパスワード入力の際に何も入力せずEnterを実行します。

電源パスワードを利用する際には、まずBIOS管理者パスワードを設定いただくことを強く推奨します。



# Q:BIOS設定変更内容をすべて元に戻すには?

A:

すべての設定項目を出荷時のデフォルト設定に戻すには、

[Main → Apply Factory Defaults and Exit](#)

を実行します。ただし、BIOS管理者パスワード等セキュリティに関する情報はクリアされません。

また便利な機能として、特定の設定変更を実施後、

[Main → Save Custom Defaults](#)

を実行すると、その時点での設定内容(カスタム設定)が保存されます。その後さらに誤って設定変更してしまった等の場合に、

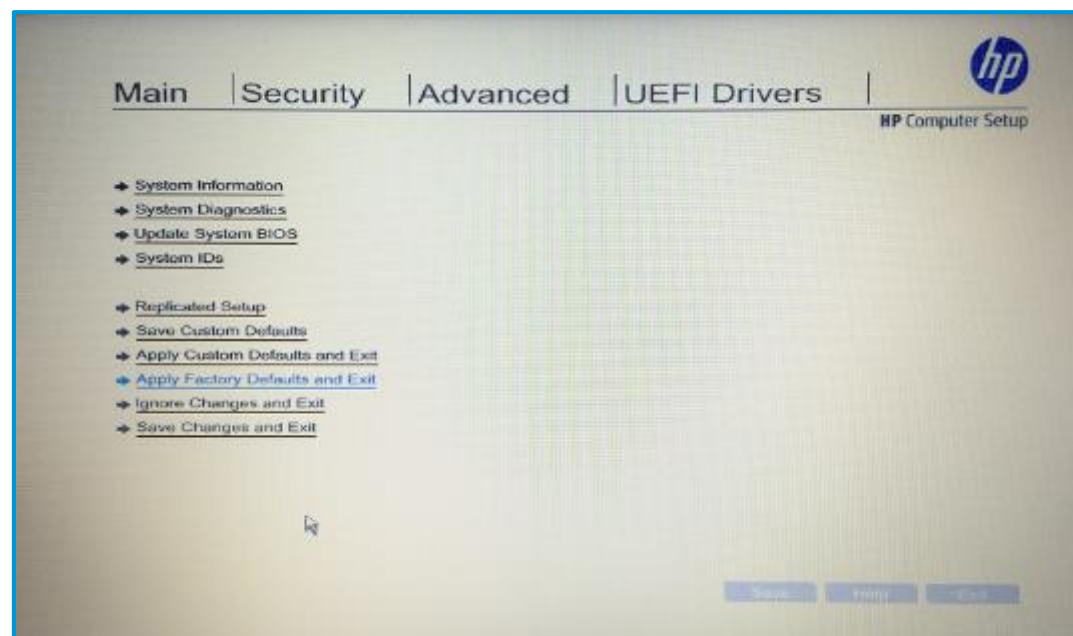
[Main → Apply Custom Defaults and Exit](#)

を実施することで、保存した設定内容(カスタム設定)に戻すことが可能です。

BIOS管理者パスワード等のセキュリティに関する設定をクリアするには、

[Security → Restore Security Settings to Default](#)

を実施します。





# Q:HDDパスワード(DriveLockパスワード)を設定したい

A:

以下の場所に設定があります。

[Security](#) → [Hard Drive Utilities](#) → [DriveLock](#)

内蔵ドライブ名を選択します。

[Set DriveLock Master Password](#)

にて、HDDマスターパスワードを設定します。次に、

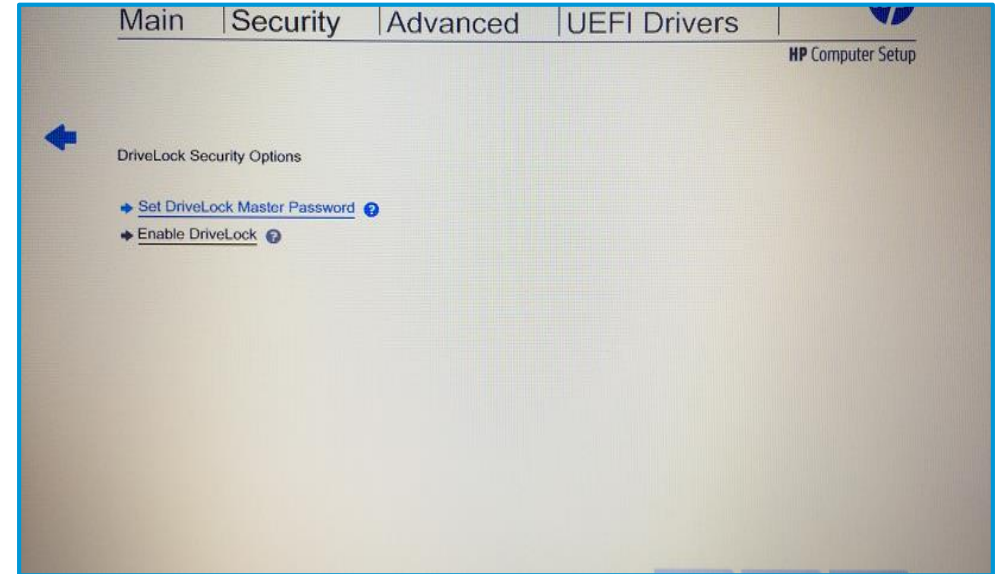
[Enable DriveLock](#)

にて、HDDユーザーパスワードを設定します。

どちらも、設定するパスワード入力には確認の入力を含め2回入力します。

HDDパスワード設定後は、PCの電源オン時にそのパスワード入力画面となり、正しく入力できずとそのHDDにアクセスすることができません。つまり、そのドライブ内のOS起動もできません。

HDDパスワード入力では、3回の入力ミスでそれ以上は入力不可となり、PC電源を入れなおす必要があります。この許容ミス回数は固定となっており、変更はできません。



# Q:HDDのデータをすべて消去したい

A:

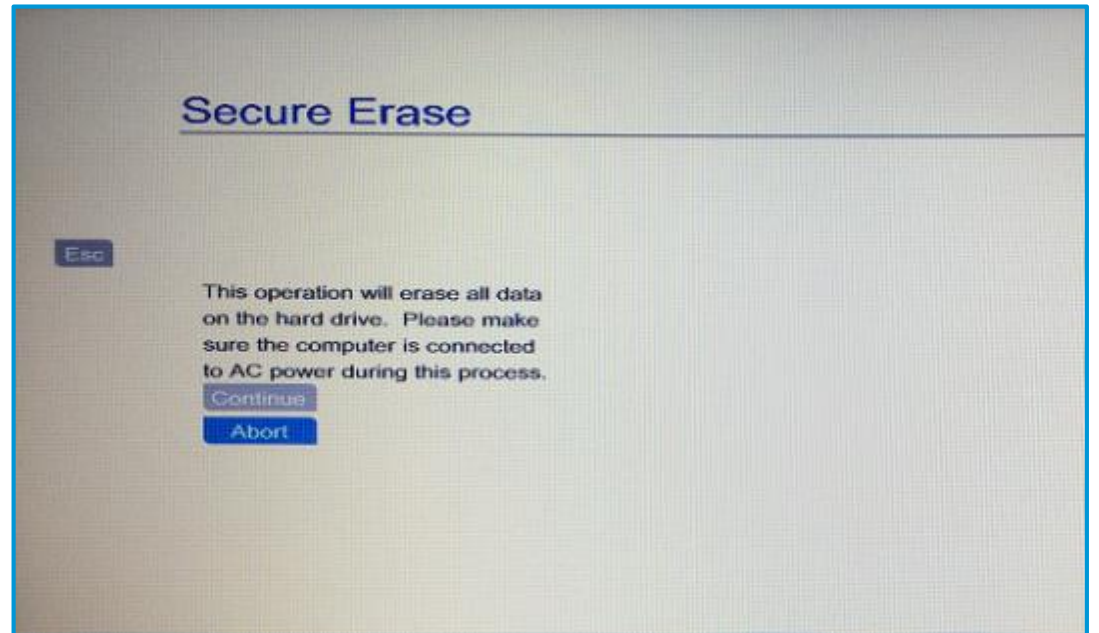
BIOSで実施可能です。以下の手順になります。

1. Security → Hard Drive Utilities → Secure Erase  
を選択し、内蔵ドライブ名を選択します。
2. 全データの消去が実施される確認画面で Continue を選択し、DriveLockとしての任意のパスワードを2回入力します。
3. おおよその目安時間が表示され、Continue を選択すると、消去作業が開始されます。

消去完了までのおおよその目安時間は以下の通りです。(CPUスペック等により変化します。)

256GB SSD : 約30分

500GB HDD : 約80分



# Q: Windows 7/8.1/10 各環境をインストールする時のブート設定は?

A:

以下の設定項目の選択値を確認します。

[Advanced](#) → [Secure Boot Configuration](#) → [Configure Legacy Support and Secure Boot](#)

下記の表に従って、選択します。また、この設定によりドライブのパーティション構成の種類は以下となります。

	Windows 7	Windows 8.1 および Windows 10
Configure Legacy Support and Secure Boot の選択値	Legacy Support <b>Enable</b> and Secure Boot <b>Disable</b>	Legacy Support <b>Disable</b> and Secure Boot <b>Enable</b>
パーティション構成	MBRパーティション	GPTパーティション



# Q:Wake-On-LAN(WOL)は有効になっていますか?

A:

標準出荷時はデフォルトで有効に設定されています。

以下の場所に設定があります。

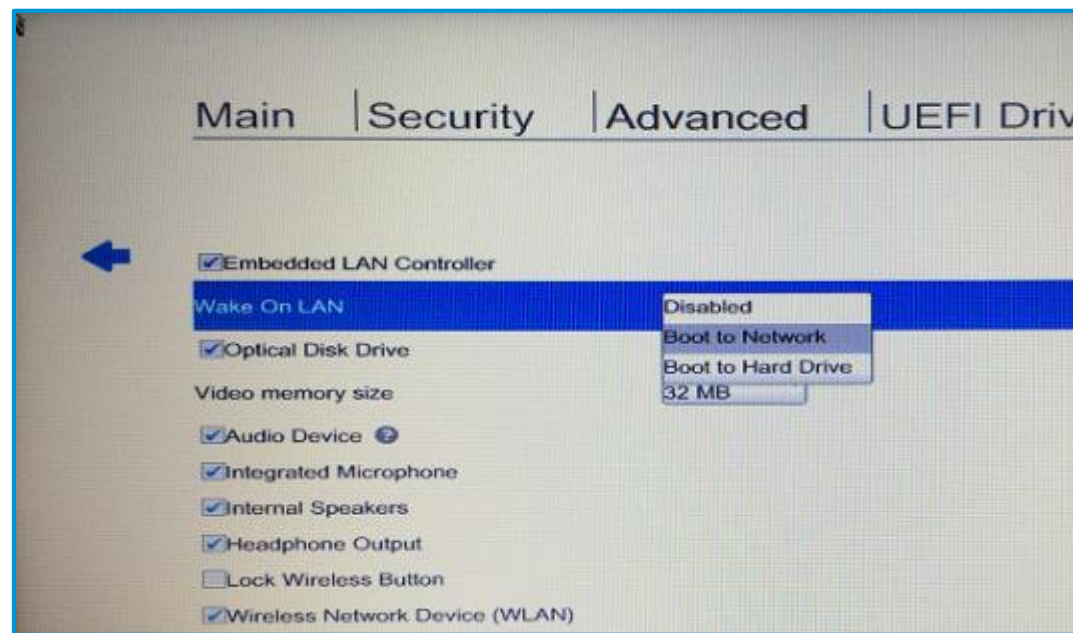
[Advanced](#) → [Built-In Device Options](#) の設定画面に

[Wake On LAN](#)

の項目があります。

設定値を [Boot to Network](#) あるいは [Boot to Hard Drive](#) に選択するとWOLが有効になり、WOL動作時に選択したブートソースからの起動を行います。

WOLを無効にするには、この設定値の選択を [Disabled](#) に変更します。



# Q:有線LANが接続された際に無線LANを自動オフしたいのですが?

A:

BIOSにて設定可能です。

Advanced → Built-In Device Options の設定画面にて

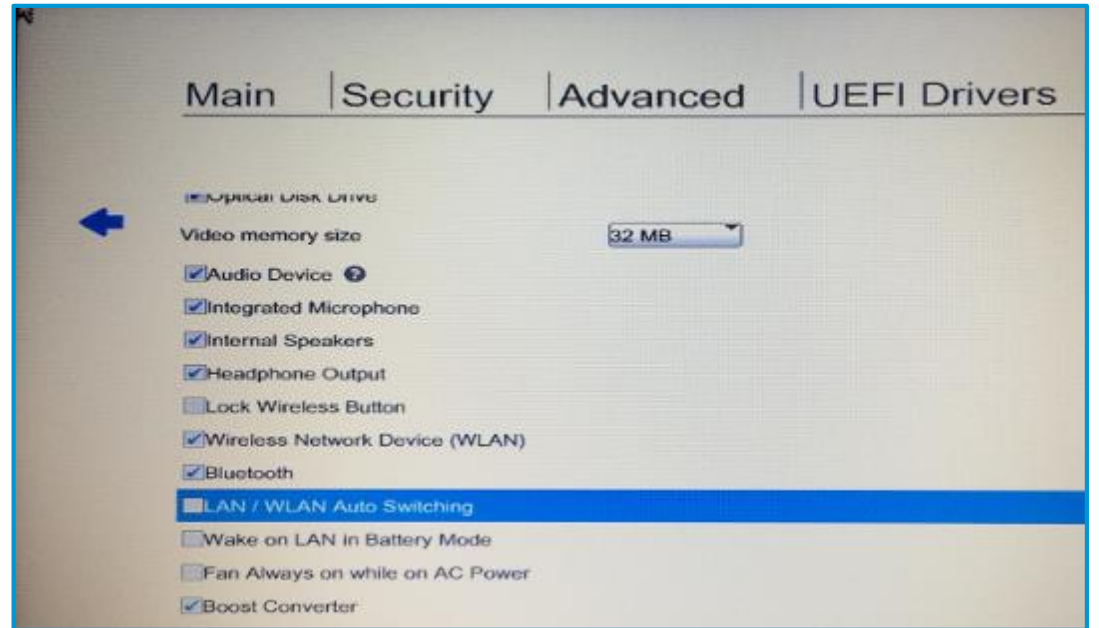
LAN / WLAN Auto Switching

の項目が該当します。

デフォルトは無効(チェック無し)です。

この設定にチェックを入れて有効にした場合、無線LANを利用中に有線LANケーブルを接続しネット接続が確認されると自動的に無線LANは無効となり、有線LANのみのネットワーク接続となります。

有線LANが切断されると、無線LANが自動的に有効に戻り利用可能になります。



# Q:内蔵OpticalDriveを無効にする設定がみあたりません

A:

はじめに、BIOSをアップデートします。

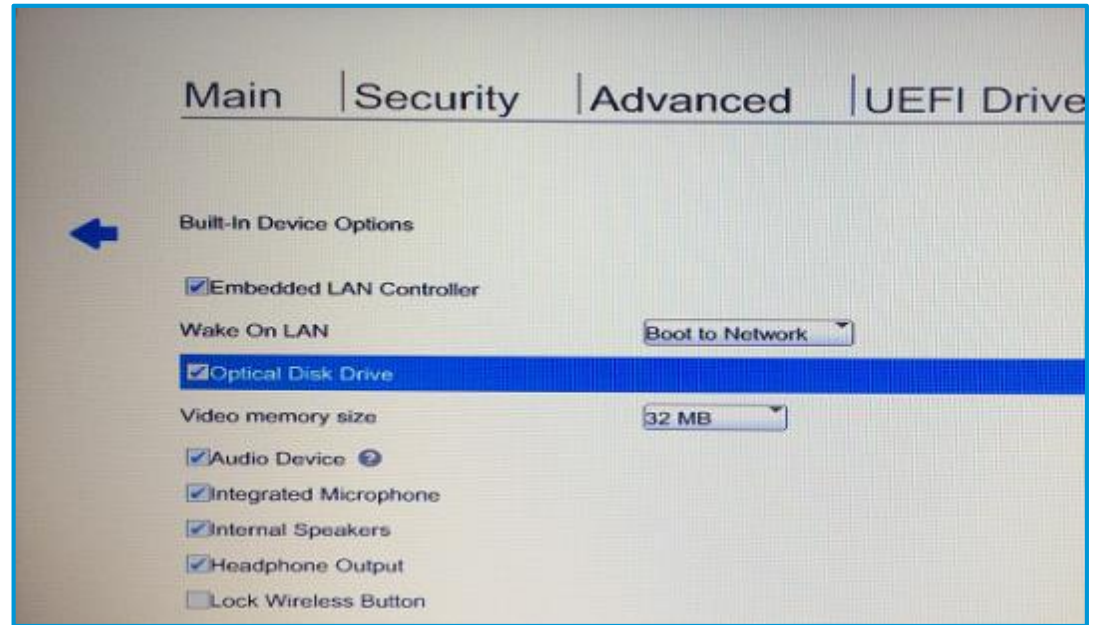
450G3/470G3 : BIOS version 01.11 以降

455G3 : BIOS version 01.09 以降

アップデート後、以下の場所で設定します。

[Advanced](#) → [Built-In Device Options](#) の設定画面にて  
[Optical Disk Drive](#)

のチェックを外して無効にします。



# Q:BIOS設定で、USBデバイス利用を制御できますか？

A:

BIOSでの設定は可能です。

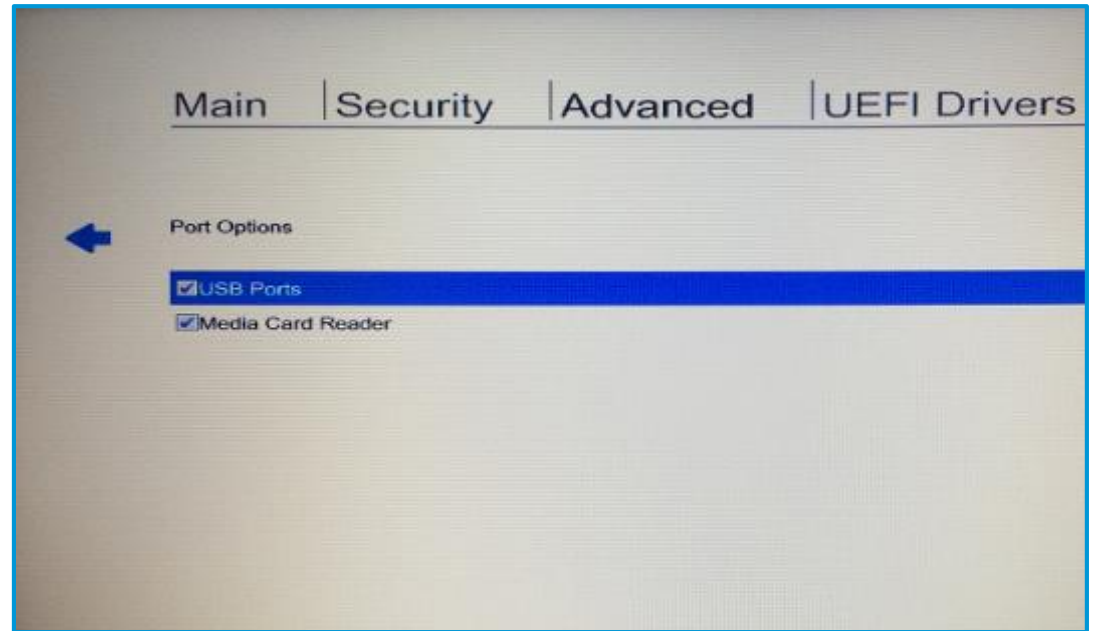
[Advanced](#) → [Port Options](#) の設定画面にて

[USB Port](#)

のチェックを外すことで、すべてのUSBポートが利用不可となります。USBポートごとの設定はありません。また、USBデバイスの種類を指定した設定はBIOSではできません。

USBデバイスの種類による制御を行うには、Windows OS環境にて実施します。一例として、グループポリシー設定を利用することで、USB接続のストレージデバイスの利用を制限することが可能です。

※以前のモデルまでバンドルされていたソフトウェア「HP Device Access Manager」はサポートされなくなりました。



# Q:内蔵カメラや指紋リーダーを無効にしたい

A:

以下の場所に設定があります。

Advanced → Built-In Device Options の設定画面にて  
Integrated Camera

Fingerprint Device

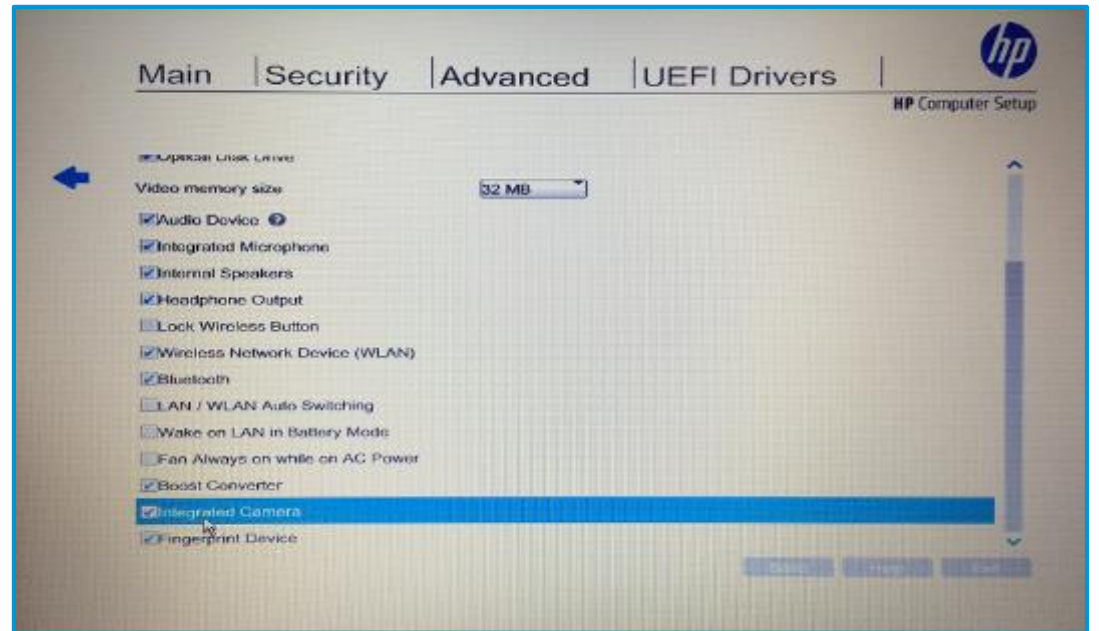
の各項目のチェックを外すと無効となります。

また、メディアスロットを無効にする場合は、

Advanced → Port Options の設定画面にて

Media Card Reader

の項目のチェックを外すと無効となります。





# Q:BIOSでタッチパッドは無効にできますか？

A:

BIOSでは無効にすることができません。

タッチパッドは、Windows環境上で設定・制御が可能です。必要なタッチパッドのドライバソフトウェアを適用してください。

Windows利用中に、タッチパッドの左上部にある、小さなドットを素早く2回タップすると、タッチパッドのオン・オフが切り替わります。オフ時には、そのドット部分がオレンジLEDで点灯します。

さらに、マウスのプロパティ → タッチパッド タブの設定画面にて、

「USBマウス接続時に内蔵ポインティングデバイスを無効にする」(マウス接続すると自動でタッチパッドが無効となる)

という設定もあります。

タッチパッド オン



タッチパッド オフ



# Q:変更したBIOS設定情報を複数のPCに展開できないでしょうか?

A:

BIOSにある [Replicated Setup](#) の機能を活用します。

BIOSにて、各種必要なBIOS設定変更を実施した後に、

[Main](#) → [Replicated Setup](#) の画面に入り、

[Backup Current settings to USB device](#)

を実行すると、接続したUSBストレージデバイスにBIOS設定変更内容の情報が「HpSetup.txt」というテキストファイルに保存されます。

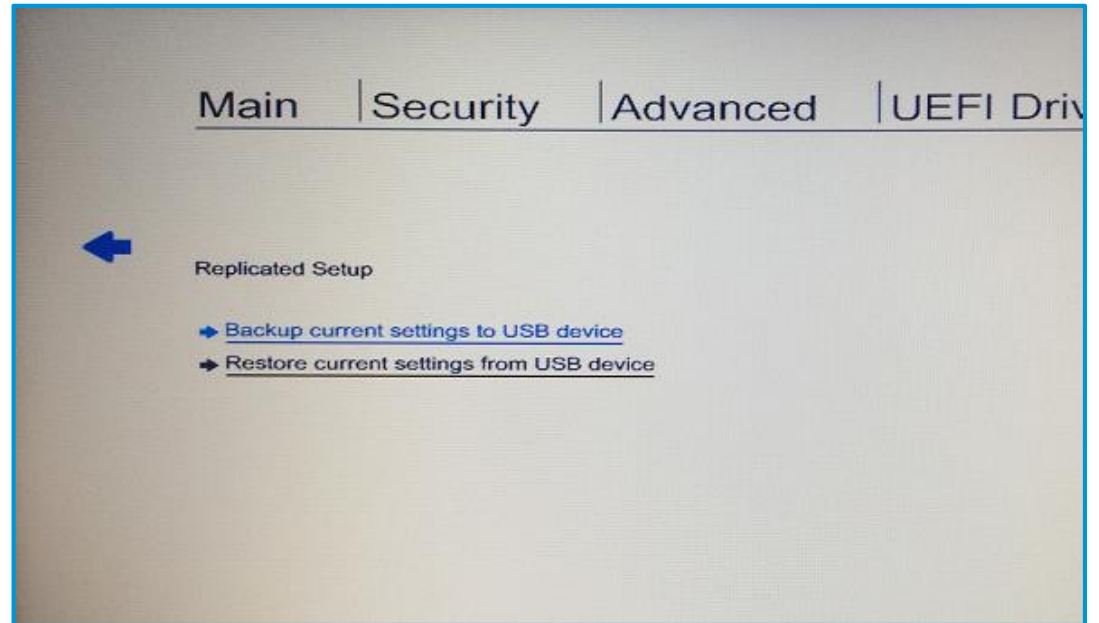
そのUSBストレージデバイスを設定展開したい別の同一型番の端末に装着して、その端末のBIOSにて

[Main](#) → [Replicated Setup](#) の画面に入り、

[Restore Current settings from USB device](#)

を実行して、「HpSetup.txt」を読み込ませることにより、同じ設定内容がコピー展開されます。

この機能の活用により、複数の同一端末ごとに多数の設定変更を行う手作業を簡略化できます。



# Q:BIOSをアップデートするには?

A:

大きく2通りの方法があります。

1つめは、Windows動作中にアップデートする方法です。ドライバサイトから、BIOSアップデート用のパッケージ実行ファイル(spXXXXX.exe , XXXXXは5桁の数字)を入手して、Windows上で実行してBIOSをアップデートできます。

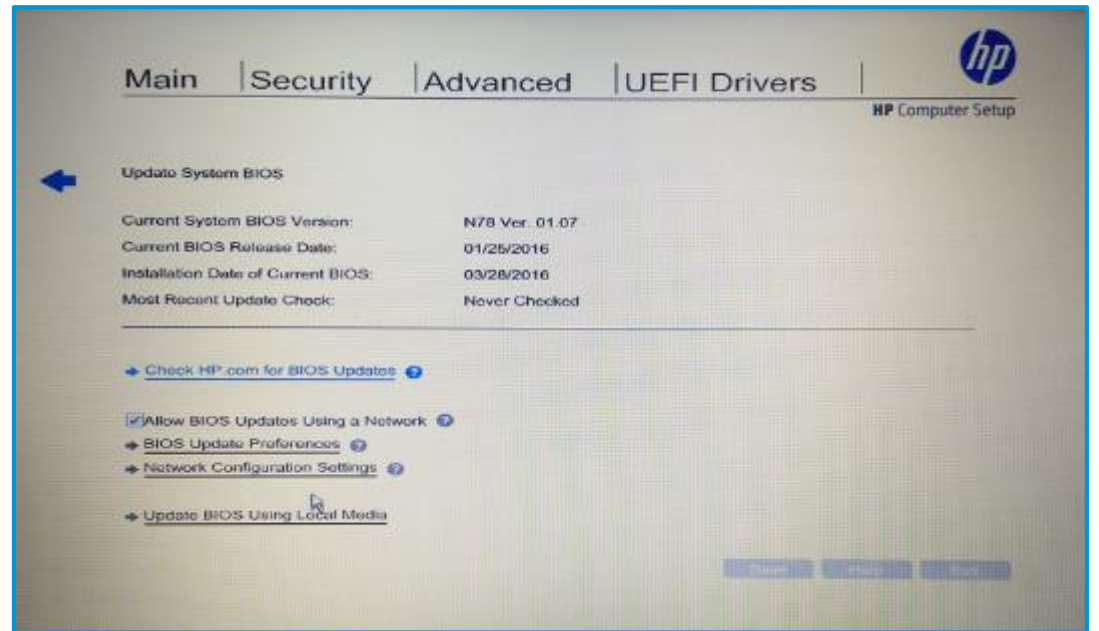
2つめは、BIOSに入ってアップデートを実行する方法です。

[Main](#) → [Update System BIOS](#)

の画面に入り、各種必要な作業を実施します。

この方法では、PCがネットワーク接続されていれば、ネットワーク経由で新しいBIOSをダウンロードしてアップデートすることが可能です。

これらの仕組みによって、BIOSを新しいversionに更新することが可能となり、PC環境をより安全に、安定した状態で運用することができます。



# Thank you

